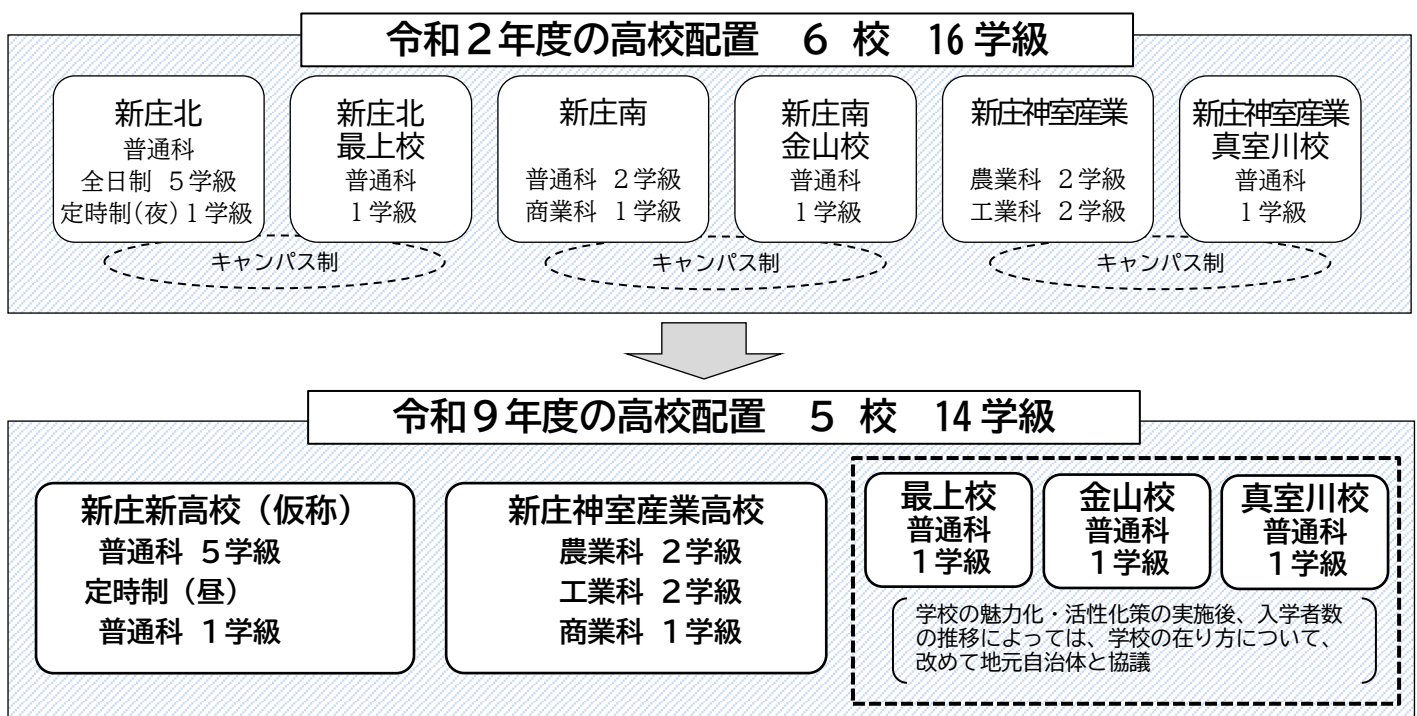


最上地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)【概要版】

県教育委員会は令和2年3月の「最上地区の県立高校再編整備計画<第2次計画(骨子案)>」の公表後、地域説明会、意見募集、学校関係者や産業界などからの意見聴取を実施し、いただいた意見を参考にしながら検討を進め、この度、「最上地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」を策定しました。

1 再編整備の概要

- ◇ 新庄北と新庄南(普通科)を統合し、新庄新高校(仮称)を開校 [令和8年度]
- ◇ 定時制を夜間から昼間に移行 [令和9年度]
- ◇ 新庄神室産業に商業科を新設(新庄南の商業科を募集停止) [令和6年度]



2 新庄市内高校の計画

新庄新高校(仮称)

全日制の課程

- 普通科5学級
- 令和8年度に開校。これに伴い、新庄北高校及び新庄南高校在籍生は新高校に転学
- 新庄北高校の敷地・校舎を活用

<特色>

- ・単位制を導入し、教科の特性や生徒の進路目標に応じた少人数指導等により進学指導体制の強化を図り、学力向上を実現
- ・多様な学習ニーズに応えるコースや特色ある選択科目を開設し、進学から就職まで幅広い進路希望を実現
- ・地域社会と連携した活動を展開し、地域課題等に係る探究型学習を行い、将来地域を牽引する力を持つ人材を育成

定時制の課程

○令和9年度に夜間定時制から昼間定時制に移行する。これに伴い、令和9年度からは定時制に在籍する全ての生徒が昼間に学習活動を行うこととなる

○現在の新庄南高校の敷地・校舎を、令和9年度から全日制と校舎を共用しない独立校舎として使用

<特色>

- ・様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学習ニーズに対応
- ・学び直しを充実させるとともに、多様な進路希望や興味・関心に対応した幅広い選択科目を開設し、主体的に学ぶ生徒を育成

新庄神室産業高校

○農業科2学級、工業科2学級、商業科1学級（令和6年度新設）

○新庄神室産業高校の敷地・校舎を活用

<特色>

- ・農工商一体の特長を生かし、Society5.0の技術革新や社会動向に対応したスペシャリストを育成
- ・商業科においては、ビジネスの基礎的な知識・技術の習得に加え、地域産業との連携や地域資源を幅広く活用した学習を通して、地域との関わりを重視した実践的な商業教育を推進
- ・地域産業や専門職大学などとの連携を強化し、実践的な技術・技能を身に付け、地域社会と産業の発展に寄与する生徒を育成
- ・学科の枠を超えた科目を選択して学習できる総合選択制を活用するなど、生徒の幅広い興味・関心に応じた多様な選択科目を提供

3 分校の在り方

○学校の魅力化、活性化策を検討し、具体的な取組を行うために、学校が所在する自治体等の意向を踏まえ、「学校魅力化に係る地域連携協議会」が設置されている。令和2年度から3年間を目処として取り組み、その後においても入学者に増加傾向が見られない場合※は、設置主体を含めた学校の在り方について、地元自治体と改めて協議する ※目安として入学者数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合

○本校化やキャンパス制の在り方について検討している

4 今後の検討課題

○開校時の新庄新高校（仮称）の校舎は、山形県立学校施設長寿命化計画に基づき、全日制は新庄北高校、定時制は新庄南高校の既存施設を使用するが、その後の校舎整備の在り方については改めて検討する

<令和9年度までのスケジュール>

年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
新庄新高校（仮称）	再編整備 計画策定	教育基本 計画策定	開校整備委員会		開校準備委員会		開校	定時制 昼間移行 新南校舎 へ移転
新庄神室産業 高校		教育基本 計画策定	開校整備 委員会	開校準備 委員会	商業科 新設			
分校	学校魅力化に係る地域連携協議会							
学級減対象校					新庄南(商) 募集停止 新庄北(全)	(閉科) →	新庄新(全)	

【お問い合わせ】 山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

TEL 023(630)2493

FAX 023(630)2774

<https://www.pref.yamagata.jp/700013/bunkyo/kyoiku/gakkoukyouiku/koto/saihenseibi/mogami.html>